

看護OSCE（客観的能力試験）に 活用したeラーニングの学習効果

産業医科大学産業保健学部看護学科

○佐藤亜紀
永松有紀
松村智大

はじめに

- 近年、看護OSCEが注目されている
- 学生にとっては、技術と統合しなければならず難易度は非常に高い。
- はじめて受験する学生に
 1. 試験のイメージ化
 2. 主体的な学習に向けた学習ポイントの提示
 3. 実施後の自己課題の明確化
を目的にeラーニングを用いた

報告内容

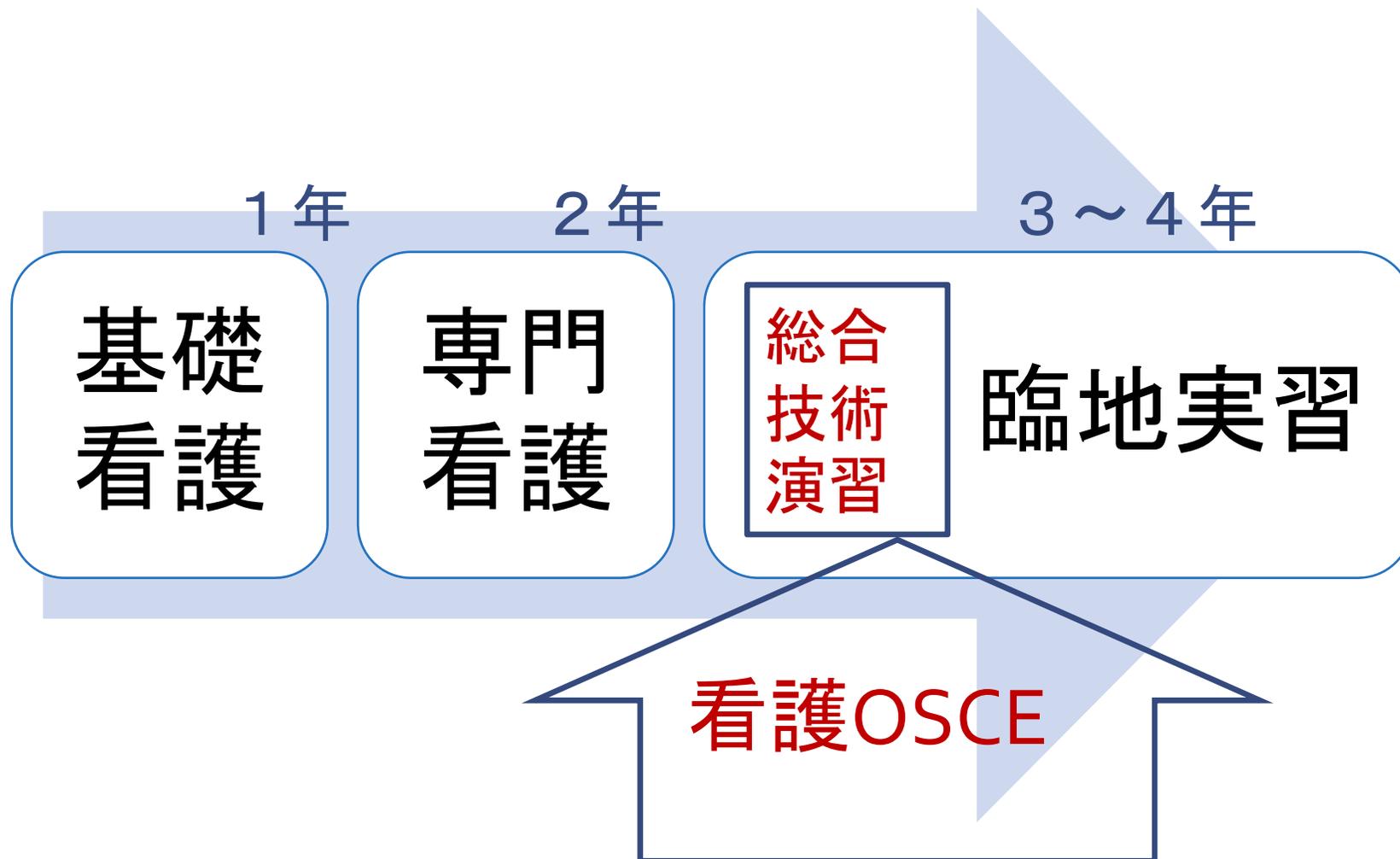
1. 実施した看護OSCE
2. 作成したコンテンツ
3. 学習効果の検討方法
4. 記述統計結果
5. 自由記述の内容分析結果
6. 学習効果の考察

看護OSCE

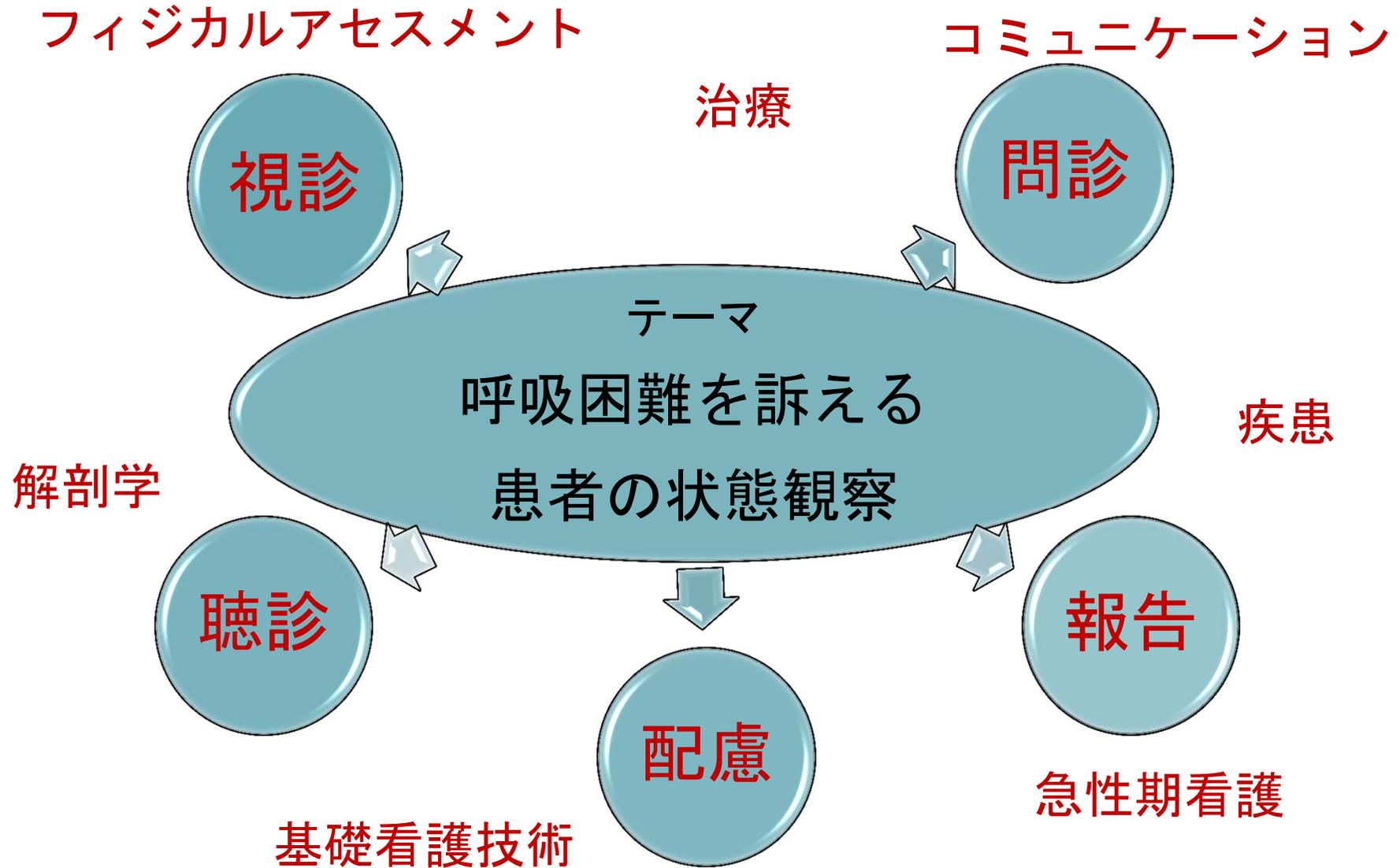
本研究では「看護OSCE」とは試験課題として提示された対象に対し

既習の知識、看護技術、態度を統合してケアとして提供する臨床能力の評価試験とした。

実施した看護OSCE-位置づけ-



実施した看護OSCE-内容と求められる思考-

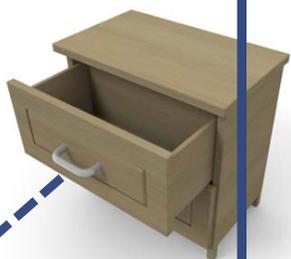


eラーニングの特徴

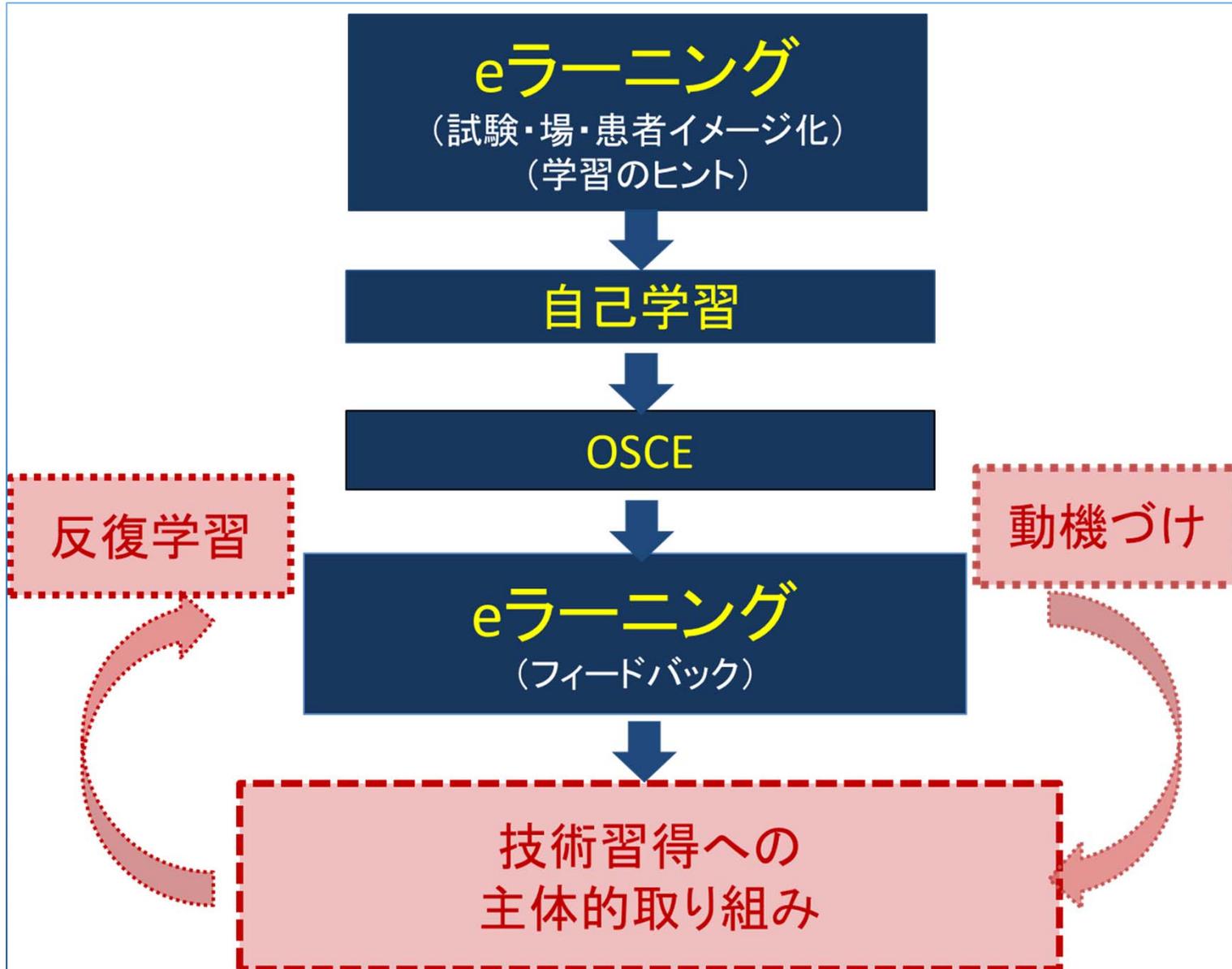
学生が学習ポイントを理解するためには・・・

eラーニングだけでは
完結できない

主体的学習に繋がるように、ヒントのみを配信



eラーニングの位置づけと学習過程



学習効果の検討

対象：A大学看護学科3年生65名.

内容：①4段階評価でアンケート
看護OSCE実施前後のeラーニングの効果と
教材評価
②自由記述
試験後の学びについては自由記述とした.

分析：教材評価について満足度などに関する
記述統計を算出.
自由記述については内容分析を行った.

アンケート内容

試験前

1. 試験方法は理解できたか
2. 試験に向け復習や練習しておくことが明確になったか
3. 試験に関心が持てたか

試験後

1. 知識を深めることができたか
2. 技術習得に役立つと思うか
3. 自己課題が明確になったか
4. 学習意欲は高まったか

共通

1. eラーニング教材の長さは適切か
2. eラーニング教材の文字は見やすかったか

結果：閲覧状況

OSCE

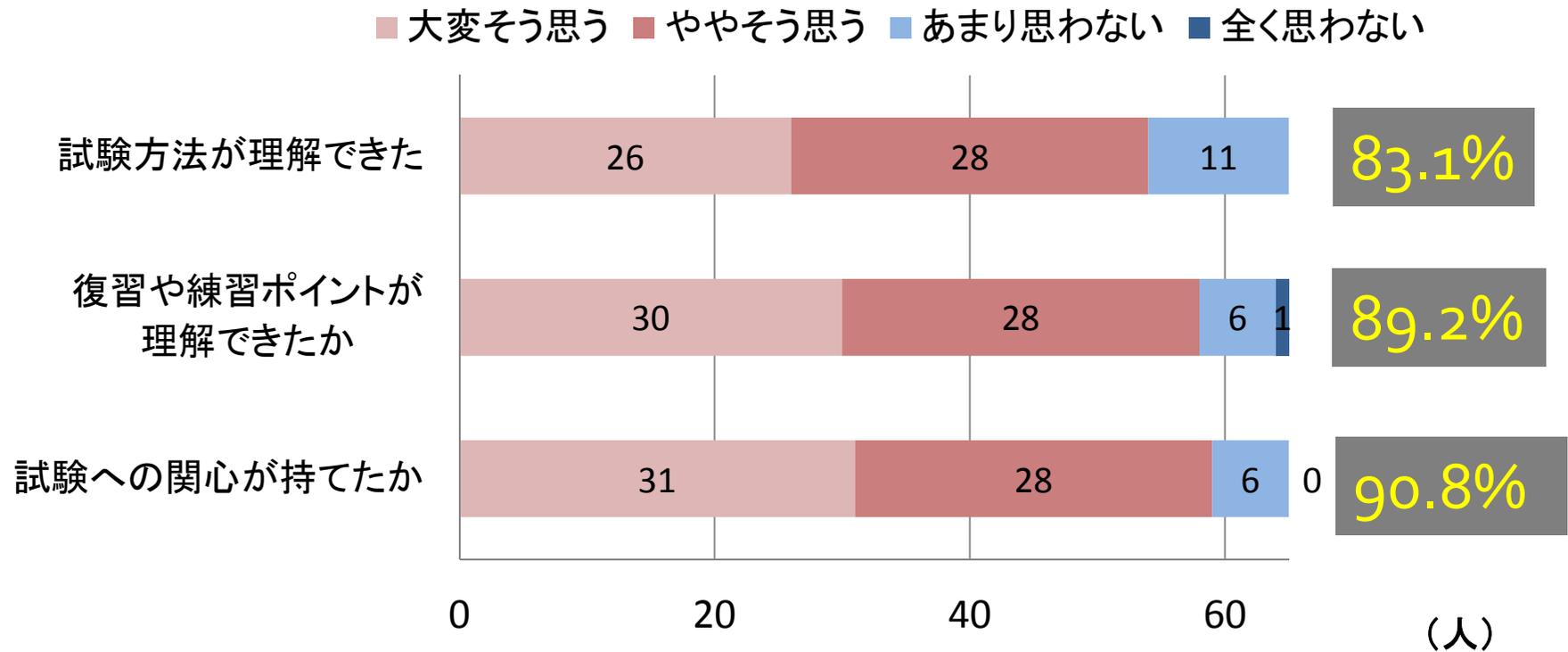


結果：閲覧状況

- 評価平均は**11.1 ± 1.5**点/16点満点
(最小8—最大13)
- **62名 (95.4%) が得点率60%以上**
- 全体的に高得点

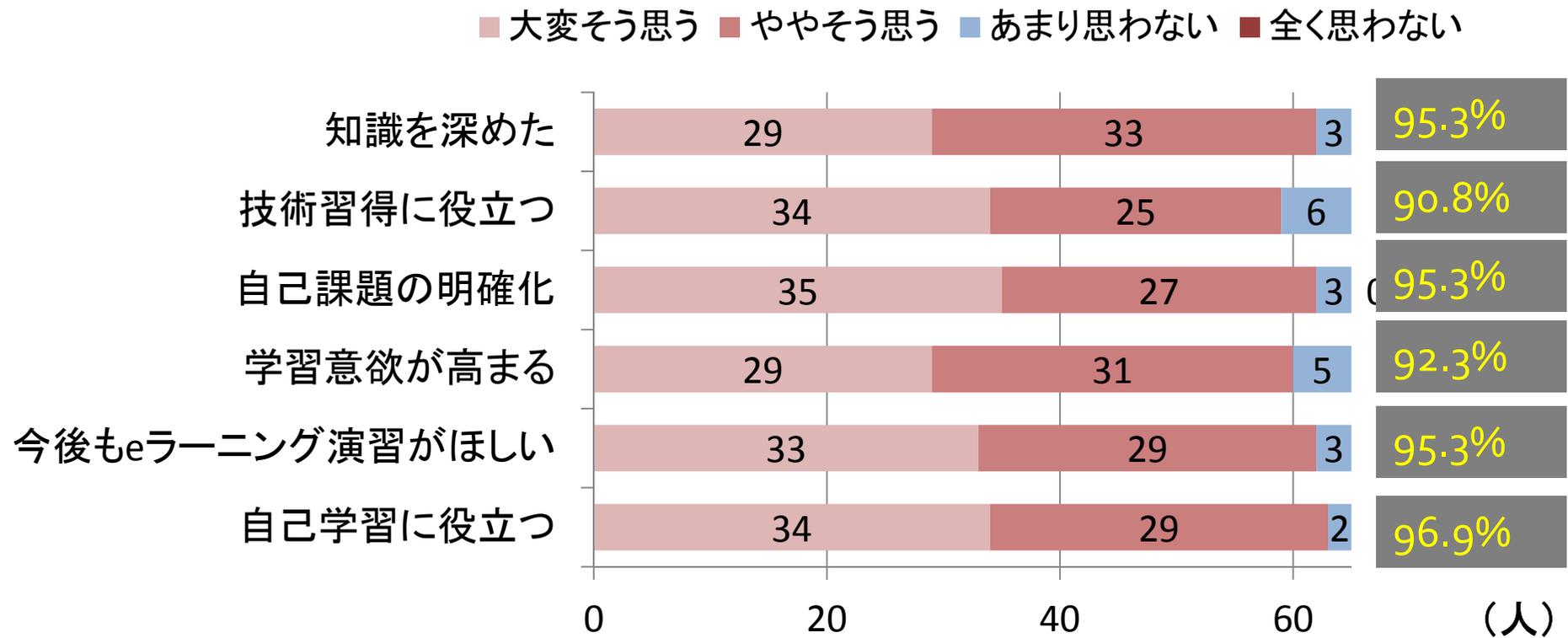
結果：アンケート結果

OSCE前コンテンツ評価



結果：アンケート結果

OSCE後コンテンツ評価



結果：自由記述の分析

- ・コード133
- ・サブカテゴリー18
- ・大カテゴリー7

イメージ化

モチベーション

学習の促進

使いにくさ

主体的学習の手がかり

受動的な学習

eラーニングのメリット

結果：自由記述の分析

イメージ化

サブカテゴリー	コード
患者イメージ(4)	患者さんがどのような状態なのかイメージしやすく、イメージトレーニングに役立だった
試験イメージ (32)	演習の進め方が紙面や口頭の説明ではイメージしにくい。動画は分かりやすい

結果：自由記述の分析

学習の促進

サブカテゴリー

コード

練習内容の明確化(17)	観察項目や問診内容を絞る必要があることを把握でき、自己学習をより効果的に行えた
事後学習ポイントの理解(10)	学習のポイントがわかりやすいことといった利点を実感
技術の振り返り(6)	自分の技術について振り返りができた
学習のヒント(6)	何を調べて、どんな順序で行うべきなのかを考 えることができた
グループ学習(2)	分からないことは友人と相談し、自分だけでは 得られない考えも得ることができた

結果：自由記述の分析

主体的学習の手がかり

サブカテゴリー

コード

自己課題の明確化(8)	自分ができていなかったこと、不足していたことなど、課題を明確にできた
リフレクション効果(3)	フィジカルアセスメントの内容を振り返りよかった点・反省点が明確になった

結果：自由記述の分析

eラーニングのメリット

サブカテゴリー	コード
利便性(14)	自分の都合の良い時間に、好きなだけ閲覧できるのが自己学習に便利
見やすさ(3)	文章だけでなく先生の声も入っているので、内容が頭に残りやすい

モチベーション

モチベーション(3)	テストに対しての緊張感、モチベーションも上がった
------------	--------------------------

結果：自由記述の分析

使いにくさ

サブカテゴリー

コード

不便(3)

見たいところにすぐにはいけず待ち長かった

練習に役に立たない(4)

必要となる技術がなかったのであまり活用せず

受動的な学習

情報が少ない(5)

情報が少なく、具体的にどう観察していくのか想像が付きづらく苦労した

解答がほしい(5)

終わった今でも結局どのような方法で行うのが正しかったのかよくわからない

考察-1

学生の主体的学習を期待

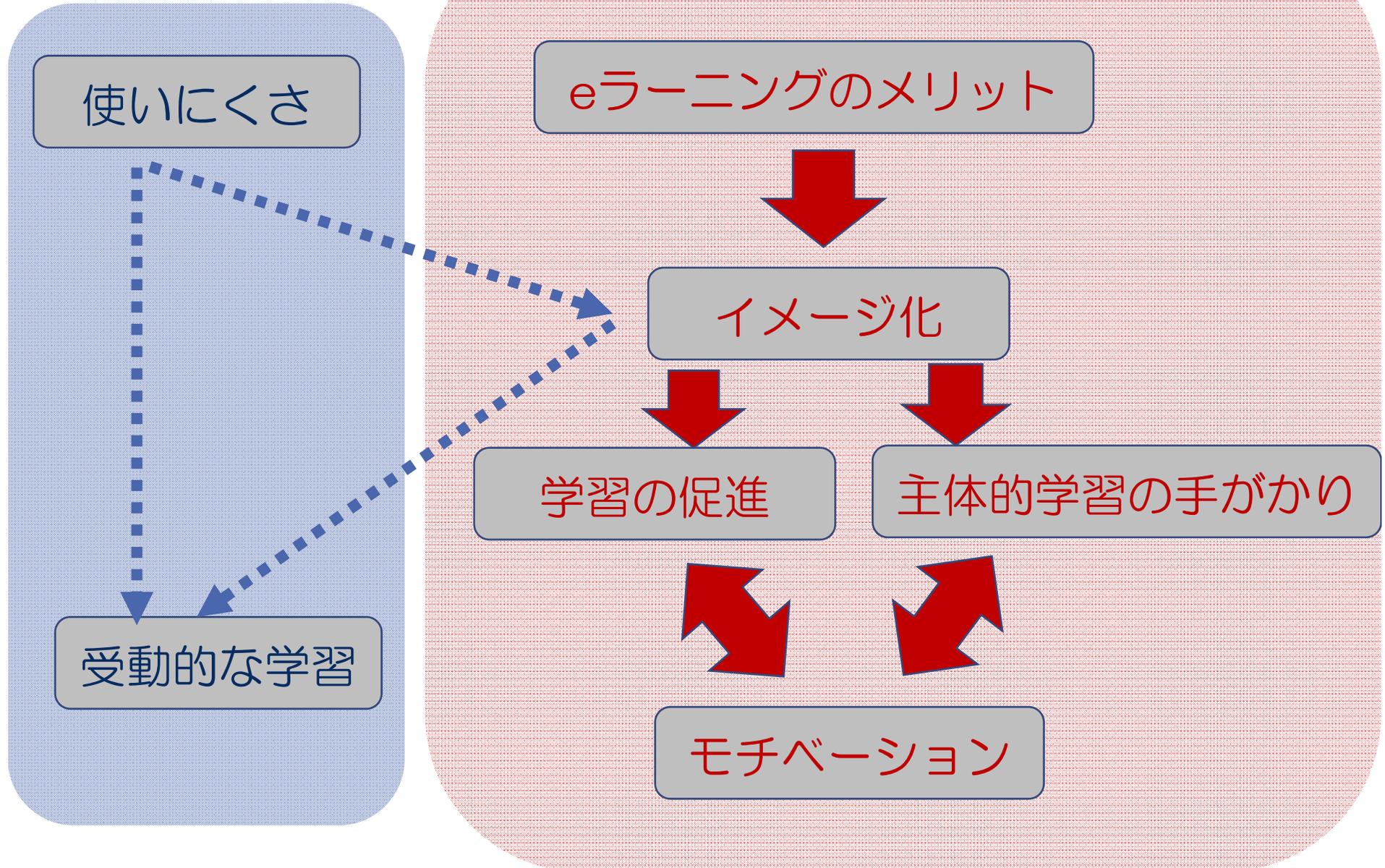


情報量， 解答・解説も最小限

- ①「練習ポイントの明確化」「演習への関心」も高い
- ②試験結果も総じて高得点である

主体的な学習行動に一定の効果があったと推察

考察-2



まとめ

1. eラーニングは看護OSCE全体イメージ化に有効であり、実施前後でいずれも学習の促進に期待
2. eラーニングコンテンツは十分に活用できず受動的な学習姿勢の学生も認められた。
3. 学生の主観的評価だけでなく、形成的評価が今後の課題である

【引用・参考文献】

- 1) 真嶋由貴恵, 中村裕美子, 青山ヒフミ, 高辻功一, 階堂武郎, 堀井理司, 星和美, 白井みどり, 宗陽一郎 : 看護実践力の獲得を支援するe-learningの導入と実践, 日本教育工学会第22回全国大会論文集, 199-122, 2006
- 2) 真嶋由貴恵, 中村裕美子, 前川康子, : 看護教育における臨地実習ユビキタス学習の構築, 教育システム情報学会誌, 27(1), 100-110, 2010
- 3) 真嶋由貴恵 : 新しい時代の看護教育方法 ; ICTは看護職育成を変えるか, 臨床看, 39(11), 1456-1462, 2013.
- 4) 真嶋由貴恵, 細田泰子 : 可視化教材を活用した看護技術教育, IT活用教育方法論研究, 9(1), 31-35, 2006,